



季節の言の葉 こよみプリント【四月】

なまえ

# 卯月 (四月)



二十四節気・七十二候

日本の季節を表す言葉です。(\*)は七十二候の一部)

四月五日ごろ

清明 (空は澄み、風がさわやかで花が咲き乱れる)

四月五日ごろ

\*玄鳥至 (つばめが南からやってくる)

四月十日ごろ

\*鴻雁北 (雁が北へ渡っていく)



四月十五日ごろ

\*虹始見 (雨の後に虹が出始める)

四月二十日ごろ

穀雨 (めぐみの雨が、あらゆる穀物をうるおし育てる)



日本の言の葉

声に出して読んでから、下の文をなぞって書きましょう。

春はあけぼの。

やうやう白くなりゆく

山ぎは、すこしあかりて、

紫だちたる雲の細く

たなびきたる。

春はあけぼの。

やうやう白くなりゆく

山ぎは、すこしあかりて、

紫だちたる雲の細く

たなびきたる。

【意味】春は明け方がよい。

だんだん白くなっていく山に近いあたりが、少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいているのがよい。

(枕草子「清少納言」)